

黒毛和種産肉能力（間接法）検定成績

（畜試 肉牛部）

1. 背景とねらい

県内黒毛和種の産肉能力等経済性の向上を図るため、黒毛和種牛群育種改良推進事業の中で産肉能力（間接法）検定を実施している。今回5頭の種雄牛について同検定が終了し、その成績を得たので改良指導上の参考に供する。

2. 技術の内容

昭和63年度黒毛和種間接検定成績

検 定 牛	村 茂 (N= 8)	南部気高 (N= 8)	寿 福 (N= 7)	安 金 (N= 7)	谷 波 (N= 8)
生 年 月 日	49. 6.10	60. 6. 7	60. 6. 8	60. 5. 1	60. 6. 8
登 録 番 号	黒高 693	黒原 1674	黒原 1693	黒原 1682	黒原 1596
父	茂 正 波 (黒10184)	寿 高 (黒育204)	寿 高 (黒育204)	安谷土井 (黒育85)	安谷土井 (黒育85)
血 統					
母の父	茂 金 波 (黒育7)	英 須 (黒高736)	裕 豊 (黒高184)	田森土井 (黒7663)	茂 金 波 (黒育7)
開始時	237.6±	265.0±	281.2±	275.1±	270.3±
体 重 (kg)	14.2	30.2	14.9	29.4	25.7
終了時	527.8±	624.2±	620.0±	591.3±	580.0±
	28.5	69.2	43.8	41.8	45.2
1日当り増体量	0.80±0.06	0.99±0.11	1.05±0.12	0.87±0.07	0.85±0.08
1KG増体TDN	7.14	6.68	6.78	6.78	6.84
枝 肉 歩 留	64.5±1.5	65.6±1.0	64.3±1.2	64.3±1.4	64.9±0.9
ロース芯断面積	43.0±4.5	49.3±4.5	49.1±5.3	49.6±4.0	46.0±3.5
背部皮下脂肪厚	1.9±0.2	2.3±0.5	2.3±0.3	1.8±0.5	2.0±0.5
脂肪交雑・(BMS)	2.2±0.6	1.8±0.5	2.0±0.4	2.6±0.9	2.2±0.6
枝 肉 格 付	A5-3 A4-5	A5-2 A4-5 A3-1	A5-1 A4-6	A5-4 A4-3	A5-4 A4-4

- ・ 村茂は1日当り増体量(0.80kg)、粗飼料摂取率(20.9%)、枝肉歩留(64.6%)に優れるが、ロース芯面積(43cm²)が劣る。脂肪交雑(2.2)、A5格付率(37.5%)は平均並である。
- ・ 南部気高は枝肉歩留(65.6%)に優れ過去最高であり、1日当り増体量(0.99kg)も寿福に次ぐ高い値であるが、皮下脂肪厚(23mm)、脂肪交雑(1.8)がやや劣る。
- ・ 寿福は本県最高の間検DG(1.05kg)を示し、枝肉歩留(64.3%)、ロース芯面積(49cm²)も良好であるが、皮下脂肪(23mm)が厚く、A5格付率(14.3%)も低い。
- ・ 安金は脂肪交雑(2.6)、ロース芯面積(50cm²)、皮下脂肪厚(18mm)に優れ、A5格付率(57.1%)が高い。1日当り増体量(0.87kg)も資質系種雄牛としては高い。
- ・ 谷波はA5格付率(50.0%)、枝肉歩留(64.9%)に優れるが、粗飼料摂取率(13.9%)が劣る。ロース芯面積(46cm²)、皮下脂肪厚(20mm)は平均並である。

3. 指導上の留意事項

1) 肥育期間364日間であり、21～22ヵ月齢屠殺時の成績である。

2) 間接検定方法

期 間 364日間

飼料給与 濃厚飼料；間接検定飼料(TDN73.0%、DCP10.0%)不断給餌
(イナワラ 濃厚飼料の10%混合)

粗飼料；乾草飽食

4. 関連試験課題名

黒毛和種産肉能力検定(間接法)